

施策番号	3
------	---

施策評価シート（評価対象年度：令和4年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
主要施策名	3	結婚・妊娠・出産しやすい環境づくり
5年後のまちの姿	〇若者が結婚・妊娠・出産の希望を叶え、市内には新しい家族や子どもが多く暮らしています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、結婚・家族の在り方等に関する啓発を行うとともに、結婚・妊娠・出産に関する市民の希望を叶えるサポートを行います。 市民等は、若者に対するライフデザインの学びの機会や出会いの場にもなるような空間・イベントづくりに協力します。	
実現に向けた取組	①出会いの場づくり ②結婚・妊娠・出産への意識醸成と支援 ③妊娠・出産を支える相談・医療体制の充実	
施策担当課・係	総合政策課 企画政策係	
施策関係課・係	健康づくり課 子育て応援係、こども支援 課こども支援係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	4,117				
事務事業数	2				
うち、事務事業評価対象	1				

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度最終目標
出会い等に関するイベント等の市民参加割合	%	23.9	20.9					30.0
ライフデザインセミナーの参加者数〔年間〕	人	97	46					100
出産後、助産師・保健師等からの指導を十分に受けることができたと答える人の割合〔年間〕	%	96.7	95.8					97.0
成果指標による現状分析	<p>出会い等に関するイベント等やライフデザインセミナーについては、新発田市・聖籠町とともに定住自立圏として取り組みイベント等を実施してきているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される状況であったため参加者数等が十分ではなかった。</p> <p>子どもに関する相談窓口を一本化したことにより、妊娠期から子育て期まで保健師・助産師による継続した子育て相談を受けられる体制となった。</p>							

3 施策の進捗状況

達成度	△やや遅れている
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される状況であったため参加者数が十分ではなかったが、カップル成立率が約50パーセントとなるなど結婚を希望する方が成婚に至るための第一ステップとなる場を提供することができ、一定の成果はあったと考えている。しかし、指標とした数値が基準値よりも低下していることから、やや遅れていると評価した。

4 取組の状況と今後の方向性

① 出会いの場づくり

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・県事業である「ハートマッチにいがた」を通じて、登録者の出会いをサポートします。 ・定住自立圏事業として、婚活イベントや個別相談会等を開催します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・「ハートマッチにいがた」については、市報たいたい及び市ホームページへ掲載、メールマガジンの配信や公式 SNS への掲載、市施設にチラシ・ポスター等を設置する等により周知を行った。 (参考) メールマガジン「たいたい交流・出会いサポートメール」登録者数：R4年度5人 ・定住自立圏事業として、新発田市、胎内市、聖籠町が連携した婚活事業を実施。イベントは開催地域や施設の特色を生かした内容としている。婚活イベントの開催回数・総参加者数・市民参加者数：R4年度：2回・67人・14人 ・令和4年度から結婚新生活支援事業を創設し、結婚の希望を叶えるための後押しや結婚後の経済的不安の軽減を図る取組をしている。R4年度：4組
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・定住自立圏事業で「ハートマッチにいがた」の臨時窓口を月1回イクネスしばたに開設し登録及び閲覧を可能にしたが、市民の利用実績が少ない。ニーズがないのか、周知不足なのかを分析していく。(その後、令和元年から胎内市、聖籠町でも1年度当たり各1回ずつ開設) ・市内団体との協働でイベントを開催できたが、既にあるイベント等の活用はまだ進んでいない。該当団体等との連携の可能性について協議を進める。

② 結婚・妊娠・出産への意識醸成と支援

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・学生や未婚者を対象にライフデザインセミナー等を開催して、若者が結婚・妊娠・出産を含めた将来の人生設計を前向きに考える後押しをします。 ・子育てや教育等に関する支援制度のPR、健診および医療費の助成等を行うことで不安感や負担感の軽減を図ります。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・定住自立圏事業として、新発田市、胎内市、聖籠町が連携しライフデザインセミナーを実施。セミナー開催回数・総参加者数・市民参加者数：R4年度：2回・46人・7人、その他学生向けのセミナーをオンラインで開催・140人、その他、これまでに恋愛結婚等に関する学生対象意識調査を実施した。 ・市内の中学生を対象とした赤ちゃんふれあい教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和4年度は中止した。 ・妊婦全員に対し、妊婦一般健康診査の受診費用の助成を行い、すべての妊婦が必要な健診を受診できるよう支援している。また、妊産婦医療費助成事業を行い、妊娠出産期の医療費負担の軽減を図っている。 ・妊娠を望み特定不妊治療を受けた夫婦を対象に不妊治療費助成を行っている。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・パーティの申込みは増えてきたものの、ライフデザインセミナーや個別相談会への申込みは少ない。アンケート調査結果を反映していく。 ・子育てサービス内容を記載した冊子「子育て応援ブックすくすく」について、事業見直しや組織改正等により修正箇所が多く見当たるため、今後の配布については検討の必要がある。 ・妊娠期から子育て期までの健診費用や医療費助成を引き続き行い、安心して子どもを産み育てられるよう支援を行っていく。

③ 妊娠・出産を支える相談・医療体制の充実

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期からの切れ目のない相談しやすい関係づくりやパパママ学級の実施により、手厚い相談・支援体制を構築し、妊娠・出産に対する不安の解消や母子の健康の増進を図ります。 ・安全で安心できる妊娠・出産のため、市内および周辺の医療関係者と連携を図りながら周産期医療体制の整備に取り組みます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・健診や相談、家庭訪問等の母子保健事業を通じて、いつでも相談できる関係づくりを行っている。 ・周辺の産科をはじめとした医療機関と連携を図りながら、妊産婦、乳幼児について必要な支援を行っている。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターで、妊娠届時の健康相談を全妊婦に行っている。それにより支援を要するケースの早期に把握に努めていく。 ・近隣市町や産科医療機関との情報連携会議が定期的に行われており、支援を要するケースの把握時の連絡窓口が明確となっている。今後も関係機関との連携を密にし、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行っていく。 ・様々な子育て支援事業が求められる昨今、市が実施している事業について市報やホームページを通じて周知する。 ・令和5年度中に母子手帳アプリを導入し、子育ての情報発信、負担の軽減、家族・地域での支援に役立てていきたい。

5 施策の今後の方針

施策方針	◎拡充
施策方針に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> ・個々が人生の見通しをたて、結婚を希望する方が結婚に至れるようなきっかけづくりとなる事業の実施と、県や市の結婚支援に関する制度周知を引き続き行っていく。 ・結婚を希望する方が成婚に至ることができるような環境づくりについて、結婚新生活支援事業などを通じて行っていく。 ・支援を要する親子や世帯に対し早期から関わることができるよう、相談対応技術や体制の維持を行い、取組を行う。 ・少子化対策として、妊娠前から出産及び長期に渡る子育て期それぞれに対する各種支援制度周知の充実を図る。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R4 事業費		R5 当初予算額		達成度	今後の 方向性	担当課
			うち 一般財源		うち 一般財源			
130210	ライフデザイン支援事業	1,188	237	3,104	1,304	○	③	総合政策課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	130210		担当課	総合政策課		担当係	企画政策係		担当者		
事務事業名	ライフデザイン支援事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	13	結婚・妊娠・出産しやすい環境づくり	予算科目	款	02	総務費
主要施策	3	結婚・妊娠・出産しやすい環境づくり			中	02	結婚・妊娠・出産への意識醸成と支援		項	01	総務管理費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	小	10		ライフデザイン支援事業	目	06
	法令による義務付け		任意	○	根拠法令		関連法規		関連計画	胎内市まち・ひと・しごと創生総合戦略	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	若者が結婚・妊娠・出産、子育てなど将来の人生設計を具体的に考える後押しをするため、新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏婚活支援事業として、ライフデザインセミナー、パーティ、個別相談会等を広域連携して実施する。費用は負担金として新発田市に支払う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 定住自立圏婚活支援事業（婚活イベント、ライフデザインイベント、個別相談会及びハートマッチにいがた臨時窓口） 結婚記念祝品の贈呈 ハートマッチにいがたの紹介、ハートマッチにいがた入会登録料補助金 たいない交流・出会いサポートメールの運営 結婚新生活支援事業補助金
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	1,188	3,104			
国・県支出金	951	1,800			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	237	1,304	0	0	0
人件費（千円）	787	0	0	0	0
正(h) ※事業費	420	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※任用(功) ※業務費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	1,975	3,104	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	定住自立圏婚活支援事業負担金170千円（新発田市へ）				
単位コスト	算出方法 経費（結婚新生活支援事業補助金を除く）／胎内市延べ参加者数（205千円／43人）				
実績	4.7千円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	講座・イベント等の開催数	講座・イベント等の開催数	講座・イベント等の開催数	
	目標	21回	21回	21回	
	実績	16回			
成果指標	名称	講座・イベント等の市民参加割合	講座・イベント等の市民参加割合	講座・イベント等の市民参加割合	
	目標	20.0%	20.0%	20.0%	
	実績	19.2%			
	目標比	96.0%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活発なイベントの開催等難しい状況であったが、安心して参加していただけるようしっかりと感染対策を講じ、コロナの影響が非常に大きかった令和3年度よりも開催回数を増やすことができた。市民参加割合についても、目標をわずかに下回ったが、概ね目標に近い数値を達成できたと考える。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4] 徐々にコロナの中でも通常の生活を行っていく流れができてきたことから、感染対策を講じた上で安心して参加していただけるよう周知し前年度よりも開催数を増やすことができた。国・県の補助金を活用し、新たに結婚新生活支援事業補助金を開始し、結婚生活の金銭的不安への軽減を図った。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的状況	新発田市・聖籠町との共同事業であり、経験を有する事業者へ委託しているほか、包括連携協定に基づく連携として民間企業と連携してイベント周知を実施している。

7 事業の課題

定住自立圏事業として実施しており、婚活イベントや個別相談会への市民申込みは一定数あるものの、事業をきっかけとして結婚に至るまでに数年を要することから、正確な成婚数の把握が困難であり、把握できた範囲では結婚に至る者が増えないことが課題として挙げられる。

8 課題解決に向けた今後の取組

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
今後の方向性	③				
イベント後に徴取しているアンケート調査の結果に基づき、事業の内容を適宜見直ししながら、結婚を希望する者は結婚につながるような事業を展開していく必要がある。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	⑤	⑥
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				